

本時案

(1) 本時目標 宝箱をもとに交流し合う中で、大好きな本への想いを紹介したり友だちの本に興味を持ったりすることができる。

(2) 本時展開

学習活動	主な支援・留意点【評価】
じぶんのたからばこには、どんなことがかいてありましたか。 ともだちのたからばこを見て、どんなことをおもいましたか。 ・あたらしい本が、よみたくなったな。 ・大好きな本のたからばこをほめてもらえて、よかったな。 ・「こんどよませて」とかいてあったので、おべんきょうがおわったら、本をかしたいとおもいます。 ・「わたしもシンデレラがすき」とかいてある人が、二人いました。シンデレラがすきな人がほかにもいて、うれしかったです。 ・「えがじょうず」とほめてくれました。大好きなばめんをがんばってつくったので、よかったです。 ・「ももたろう」につづきのはなしがあるなんて、しらなかった。おにのまことなかよくするのが、おもしろいです。 ・大きなはこでつくって、くじらぐももはいることができたのが、よかったです。 ・「てぶくろ」のあらすじをよんでいたら、どんなおはなしかきになりました。かりて、よんでみたいです。 ◎お手がみふせんし ・よいところを、かこう。 ・ぐたいてきに、かこう。 (ありがとだけに、ならないように) つくえ 板書として記載するのではなく、このような想いへと高まっていったほしいという願いである。	○学習のめあて、活動内容（お手紙付箋紙での交流）を確認する時間を取る。 ○お手紙付箋紙では、①よいところを書く、②具体的に書くことを意識できるようにする。 ○付箋紙での交流は初め隣同士で行い、その後は自由とする。注目してほしい宝箱や付箋紙（何人かが集まっているものや、見本となるお手紙内容になっているもの）がある場合は、声をかける。 ○付箋紙の中で具体的に書いてある内容について、教師が机間指導中に赤線を引くことで、その言葉に意識を持てるようにする。 ○全体での感想交流では、「友だちの本を読みたい」や「宝箱を褒められてうれしい」という言葉に注目し、今後の読書への意識が広がっていけるようにする。 ○感想交流後、ふり返りを書く。 ◇宝箱を見合う中で、友だちの本に興味を持ち、新しい本を読もうとしている。【関心・意欲・態度】 ◇本についての自分の想いを紹介したり友だちの本に共感したりすることができる。【書く】